



50周年に向けて、各学年から記事を集めています。
今回は5年生です。ぜひご覧ください。

建てたときより美しく

先日、昔の「学校要覧」と「学校施設台帳」というものを見る機会がありました。その中には開校してからの記録や様子が残っており、非常に興味深く読むことができました。

開校当時の十三小は児童数が436人。校舎は図のような形で、現在の図工室や音楽室、理科室などの部分は後から建て増したことが分かります。そしてプールや体育館もまだありませんでした。体育館が完成したのが、開校してから6年後の昭和49年10月のことです。当時の6年生が卒業文集にこう書いています。

「そして体育館に足を踏み入れました。上ばきをはきかえていくと一年生から五年生までみんなが並んですわっていました。木のおいがプンプンとしました。私は列をはみだしてとびあがりたくなりました。(中略)私たちが卒業してしまっても体育館は今のように新しくきれいに見せておきたいと思います。渡辺校長先生のおことば、『建てた時より美しく』このことばをいつまでも忘れずそのことばにあてはまるように体育館を使ってほしいなあと思います。」

来年50周年を迎えるにあたり、今の5年生が中心となって行事をすすめることとなります。開校当時の子どもたちのこの思いを伝えて、大切にしながら準備をすすめていきたいと思っています。

(5年 学年主任)

(7) 教室配置図

